

問1 世界の主な国の年平均降水量について、インドネシアが約2800ミリ、フィリピンが約2400ミリ、日本が約1700ミリと、世界平均の約800ミリを大きく上回る国々に共通する地理的な特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)

1. 温帯の気候区分に属しており、季節風の影響を全く受けないため、降水量が年間を通じて一定に保たれるため。
2. 偏西風が一年中安定して吹き込むことで、高緯度からの冷たく湿った空気が常に供給される地形的特徴があるため。
3. 赤道直下に位置しているため、一年を通じて強い上昇気流が発生し続け、大陸からの乾燥した空気が届かないため。
4. 四方を海に囲まれた島国であり、周辺の海域から供給される湿った空気の影響を受けやすいため。

問2 世界の主要な山脈を「険しい山地が分布する地域」としてまとめた資料において、アジアのヒマラヤ山脈や北アメリカのロッキー山脈と同様に、ヨーロッパ地域で広範囲が網掛け（強調）される国々があります。その国々の特徴について説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2016年 広島県公立入試 類似)

1. ロシアやウクライナは、安定陸塊と呼ばれる非常に古い平原が国土の大部分である。
2. イギリスやフランスは、広大な平原が広がっており、山地の占める割合が極めて低い。
3. スイスやイタリアは、アルプス山脈などの険しい地形が国土の大部分を占めている。
4. ドイツやポーランドは、北海沿岸から続く平坦な低地によって国土が構成されている。

問3 日本の政治制度において、衆議院で内閣不信任の決議が可決された際、内閣がとらなければならない行動とその後の仕組みについて、適切な説明を選びなさい。 (2024年 広島県公立入試 類似)

1. 参議院の同意を得ることで、次の総選挙までそのまま行政運営を継続できる。
2. 最高裁判所に判断を仰ぎ、不当な決議であると認められれば解散を免れることができる。
3. 10日以内に衆議院を解散するか、または内閣総辞職をしなければならない。
4. 弾劾裁判所による審査を受け、閣僚の過半数が不適当とされた場合にのみ総辞職する。

問4 三代将軍の足利義満が明（中国）と国交を結び、勘合を用いた貿易を開始したことは、当時の日本経済にどのような変化をもたらしましたか。その背景と影響について述べたものとして正しいものを選んでください。 (2019年 広島県公立入試 類似)

1. 明から大量の銅銭が輸入されたことで、年貢を貨幣で納める代銭納が広まるなど、貨幣経済が社会に深く浸透した。
2. 庸や調といった古代からの税制を維持するため、明から輸入した銀を全国の農村へ配布する仕組みが整えられた。
3. 国内の貨幣不足を解消するために金座や銀座が設置され、独自に鑄造した金貨や銀貨が勘合貿易の決済に使われた。
4. 地租改正によって土地の価格に応じた現金納税が義務付けられ、それに対応するために明との貿易額が制限された。

問5 子供が生活を支えるための労働に従事することで「教育の機会」が損なわれる問題について、その背景と内容を説明した文として正しいものを選択してください。 (2026年 広島県公立入試 類似)

1. 生活用水を確保するための水くみなどの重労働に時間を取られることで、子供たちが学校に通い教育を受ける権利を十分に享受できていない状態がある。
2. 学校で使用する教科書が不足していることが原因で、子供たちが自発的に労働を選択しており、これは国際的に教育の一環として推奨されている。
3. 子供たちが労働に従事するのは、地域の通信環境が未整備でオンライン授業を受けることができないためであり、労働自体が教育の代替手段となっている。
4. 貧困地域では教育を受ける権利よりも労働に従事する義務が優先されるため、子供が家事や仕事を優先することは、持続可能な社会形成のために必要不可欠である。

問6 日本において、都道府県や市町村など、特定の地域を基礎としてその地域の行政を担う公的な組織を総称して何と呼びますか。憲法においてその運営の原則が定められている用語を答えなさい。 (2025年 広島県公立入試 類似)

1. 公益法人
2. 地方公共団体
3. 特別区
4. 国家行政組織

問7 鎌倉時代になると、中国から流入した「宋銭」が社会に広く普及し、人々の生活に大きな影響を与えました。この宋銭の流通に関連する当時の社会状況の説明として、正しいもの一つを選びなさい。 (2023年 広島県公立入試 類似)

1. アヘンの輸入が問題となり、幕府は宋銭を使った貿易を厳しく制限した。
2. 市場での取引が活発になり、年貢を米ではなく貨幣で納める「代銭納」という仕組みも現れた。
3. 生糸を輸入するために大量の銀が海外へ流出し、国内の宋銭が不足する事態となった。
4. 日本独自の貨幣制度を確立するため、政府は宋銭の使用を禁止し、和同開珎の再発行を命じた。

問8 ある市の歳入決算において、歳入総額382億円のうち、地方税が139億円、国から使途を限定されずに配分される地方交付税交付金が50億円、特定の事業のために支出される国庫支出金が57億円となっている事例を想定します。このとき、残りの財源不足を補うために発行され、将来的に返済の義務を負う約65億円の借入金は何といいますか。 (2016年 広島県公立入試 類似)

1. 所得税
2. 地方交付税交付金
3. 地方債
4. 国庫支出金

問9 鎌倉時代に関する歴史年表において、幕府が鎌倉と京都を結ぶ道路を整備した記述が見られます。その後、13世紀後半になると、鎌倉幕府が迅速な通信連絡を確保するために、この「駅制（えきせい）」を九州地方まで延長する要因となった出来事はどれですか。 (2024年 広島県公立入試 類似)

1. 保元の乱の発生
2. 奥州藤原氏の征服
3. 応仁の乱の勃発
4. 元軍による襲来

問10 鎌倉時代の武士の慣習では、親が持つ領地を後継ぎの嫡子だけでなく、複数の子供たちに分け与える相続が行われていました。このような相続方法を何と呼び、どのような結果を招きましたか。最も適切な組み合わせを選びなさい。 (2026年 広島県公立入試 類似)

1. 単独相続が行われ、長男以外の子供たちが自立して新しい領地を開拓した。
2. 分割相続が行われ、代を重ねるごとに一族が所有する領地が細分化された。
3. 分割相続が行われ、一族の人数が増えることで幕府に対する軍事的な影響力が高まった。
4. 単独相続が行われ、領地が分散するのを防いだため武士の生活は安定した。

問11 鎌倉幕府において、将軍と御家人は「御恩」と「奉公」と呼ばれる主従関係で結ばれていました。このうち「奉公」にあたる、御家人が将軍に対して果たすべき義務の内容として正しいものはどれですか。 (2025年 広島県公立入試 類似)

1. 先祖伝来の領地を安堵されることや、手柄に応じて新たな土地を与えるられること
2. 武士の守るべき道として、質素儉約に努め、文武両道を励むこと
3. 幕府の許可なく城を修理しないことや、婚姻の際に届け出を出すこと
4. 京都や鎌倉の警護にあたることや、合戦の際に軍役を果たすこと

答え合わせ・解説

問1	答え 4 四方を海に囲まれた島国であり、周辺の海域から供給される湿った空気の影響を受けやすいため。	日本やインドネシア、フィリピンは四方を海に囲まれた島国という共通点があります。島国は陸地が海に面している範囲が広いため、海から蒸発した水分を多く含んだ湿った空気の影響を強く受けます。その結果、内陸にある国々や大陸にある国々と比較して、年間の降水量が世界平均を大きく上回る傾向にあります。選択肢にある「赤道」や「温帯」は、これらの国すべてに共通する条件ではないため、島国であることと海の影響を理由とするのが適切です。
問2	答え 3 スイスやイタリアは、アルプス山脈などの険しい地形が国土の大部分を占めている。	世界地図上で険しい山地を特定すると、環太平洋造山帯やアルプス・ヒマラヤ造山帯に属する地域が抽出されます。ヨーロッパではアルプス山脈周辺のスイスや、アペニン山脈が南北に走るイタリアがこれに該当し、平地が少ないという共通の課題を持っています。一方で、イギリスやドイツなどは比較的平坦な地形が広がっています。
問3	答え 3 10日以内に衆議院を解散するか、または内閣総辞職をしなければならない。	内閣不信任の決議が可決されることは、内閣が国民の代表である衆議院からの信任を失ったことを意味します。この際、内閣には、衆議院を解散して総選挙を行い国民に直接信を問うか、あるいは直ちに全員が辞職して責任を取るかという選択が憲法により義務付けられています。これによって三権分立における権力のバランスが保たれています。
問4	答え 1 明から大量の銅銭が輸入されたことで、年貢を貨幣で納める代銭納が広まるなど、貨幣経済が社会に深く浸透した。	足利義満が始めた日明貿易（勘合貿易）では、明から「永楽通宝」などの銅銭が大量に持ち込まれました。当時、日本国内では貨幣が鑄造されていなかったため、これらの輸入銭が国内流通の主流となり、商業の発展や年貢の貨幣化を加速させる要因となりました。
問5	答え 1 生活用水を確保するための水くみなどの重労働に時間を取られることで、子供たちが学校に通い教育を受ける権利を十分に享受できていない状態がある。	本来、すべての子供には教育を受ける権利がありますが、貧困家庭では子供も重要な労働力とみなされます。特に水や燃料の確保といった家事労働に何時間も費やすことは、身体的な負担だけでなく学習時間を奪うことにつながります。このように、生活を支える労働（児童労働）が原因で学校に通えなくなることは、個人の可能性を狭めるだけでなく、社会全体の発展を阻む要因となります。
問6	答え 2 地方公共団体	都道府県や市町村は、国から独立した法人格を持ち、その地域の住民の福祉のために行政を行う組織です。これらは「地方公共団体（地方自治体）」と呼ばれ、憲法第92条ではこれらの組織や運営について「地方自治の本旨」に基づいて法律で定めることが規定されています。
問7	答え 2 市場での取引が活発になり、年貢を米ではなく貨幣で納める「代銭納」という仕組みも現れた。	宋との貿易によってもたらされた大量の宋銭は、国内の商業や手工業の発達を促しました。その結果、荘園領主に納める年貢についても、現物の米や特産品ではなく、貨幣によって納める「代銭納」が行われるようになるなど、社会全体の貨幣化が進みました。選択肢にあるアヘンや生糸、和同開珎に関する記述は、時代背景や事実関係が異なります。
問8	答え 3 地方債	地方自治体が公共施設の建設や災害復旧など、多額の費用が必要な際や税収の不足を補うために外部から借り入れる資金を地方債と呼びます。これは「借金」であるため、将来の歳入から元金と利子を返済する義務が生じます。地方税などの「自主財源」とは異なり、国庫支出金などと同様に「依存財源」に分類されます。
問9	答え 4 元軍による襲来	鎌倉幕府は当初、幕府の所在地である鎌倉と、朝廷のある京都との連絡を最重視していました。しかし、13世紀後半にモンゴル帝国（元）が九州北部に侵攻してくると、現地の戦況をいち早く把握し、御家人への指令を迅速に伝える必要が生じました。この国防上の要請から、通信網である「駅制」が九州まで拡張・整備されました。
問10	答え 2 分割相続が行われ、代を重ねるごとに一族が所有する領地が細分化された。	鎌倉時代初期の武士の間では、領地を複数の子に分け与える「分割相続」が一般的でした。しかし、この方法を繰り返すと、一人の武士が受け継ぐ領地は代を追うごとに小さく、細分化されてしまいます。その結果、武士の経済基盤が弱まり、生活が苦しくなる原因となりました。
問11	答え 4 京都や鎌倉の警護にあたることや、合戦の際に軍役を果たすこと	鎌倉時代の主従関係は、将軍が御家人の所領を保証したり新恩を与えたりする「御恩」と、それに対して御家人が京都・鎌倉の警護（番役）や有事の際の軍役を果たす「奉公」という双務的な関係で成り立っていました。他の選択肢にある土地の保証は「御恩」の説明であり、城の修理制限などは江戸時代の武家諸法度の内容です。